



いすぐみだより ~分園1歳児~

令和5年 10月 1日 発行

少しずつ朝晩が涼しくなり、虫の声も聞こえ始めるなど秋の訪れが感じられるこの頃です。

9月は、保育者と一緒に巧技台遊びを中心に体を動かして遊びました。巧技台では、階段の上り下りや、スロープ、ジャンプ、またぐなど様々な動きを取り入れると、どの子も喜んで体を動かしていました。繰り返し巧技台遊びを行ううちに、体を動かすことにも慣れバランスを取るなど、体の使い方が上手になり、普段の生活の中で転倒や怪我が減ってきているように感じています。また、スロープを駆け下りたり寝そべて滑ってみようとするなどの、少しスリルを喜びながら遊んでいる姿も見られています。これも、身体を使うことが上手になってきて、自分の思うように手足などを動かせるようになってきたからこそその姿ですね！今月も、散歩や園庭、公園などに出かけて遊びながら、引き続き体を動かして楽しめるようにしていきたいと思います。

今月は運動会があります。運動会では、1歳児の年間目標である『“自分で”という気持ちを育てる』の、「自分でやってみたい」「やってみよう」と子どもたちが体を動かしている姿を見て頂きながら、保護者の皆様と一緒に楽しい一日にしたいと思っています。



<今月のねらい>

- 身体を動かして遊ぶことを喜ぶ。
- 保育者と一緒に着脱をする。

<今月の活動>

- 手指を使った遊び
- 運動遊び（巧技台、ポール遊び、体操など）
- 園周りの散歩や、公園に出かける など
- 本園交流



『指先を使った遊び、楽しんでます』

身体を動かす遊びも大好きな子どもたちですが、指先を使った遊びにも集中して遊べるようになってきました。例えば、穴や棒の中に物を落とししたり通す遊びや、レンゲやスプーンなどを使ったすくい遊び、洗濯バサミやトングなどで物をつまんだりする遊びなどを取り入れています。手先を使うと脳に刺激を与えたり、手先を使えるようになることで食具を使って食べられる、衣服の着脱では自分でズボンを引っ張り上げようとするなどの力にもつながり、できることが増えてきます。できることが増えてくることが、次への意欲にもつながってきます。

ご家庭でも簡単に遊べるので、手指の発達を促していきながら一緒に遊んでみてはいかがでしょうか。

① すくい遊び…レンゲやスプーンなどを使って、デコレーションボールや宝石玩具などをすくい、移し替えて遊んでいます。



② つまむ遊び…①でも使っているデコレーションボールや、小さく切ったスポンジをつかんで遊びます。

